

青木中学校 2 学年は総合的な学習の時間に職場体験学習を行っています。国語や技術などの教科とも連携をとったり外部講師の方からお話をお聞きしたりしながら横断的な学習をしています。6月29日・9月6日には研究授業も行いました。今月号ではその概要について中学校の教頭先生にお聞きしました。



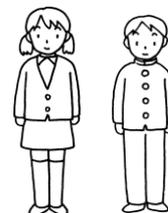
## 新学習指導要領全面実施へ向けて

### ～青木中学校「総合的な学習の時間」の取り組みから～

青木中学校教頭 林 理恵

#### 1 はじめに

新学習指導要領が改訂され、32年度に小学校が、33年度に中学校が全面実施となります。そこで、新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」の実現へ向けて、各校における「カリキュラム・マネジメント」への取り組みが求められています。青木中学校では「総合的な学習の時間」を重点教科等として、この改訂も見据えて研究を進めてきました。その中からいくつかの取り組みを紹介します。



#### 2 カリキュラム・マネジメントとは？

新学習指導要領総則において、以下のように説明され、教職員一人一人がその必要性を理解し、取り組むべきものとされています。

- ①各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと
- ②教育内容の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAを確立すること
- ③教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること

これまでもPDCAサイクルについては重視されてきましたが、今回の改訂では①や③の視点が明記されています。③については、本校は地域の皆様より多大なご支援をいただき、既に「アイリスセミナー」「ゴテラ」等で充実した取り組みを進めているところです。そこで「総合的な学習の時間」の取り組みから①の教科等横断的な視点で教育内容を組織的に配列することについて研究を始めました。つまり、各教科等同士が「コラボ」した授業実践です。

### 3 授業の実際

#### (1) 教科等横断的な視点を取り入れた単元展開

下表は2学年の職場体験学習の単元展開です。学級担任の小林登志先生と研究主任の堀内英里先生が中心となって教科等横断的な視点を取り入れた単元展開を考えました。総合的な学習の時間としての学習活動と他教科の学習活動（で示された部分）との関連が示されています。

学習活動	学習内容	時数
<b>職場見学</b>	○ 青木村内の5つの職場を班ごとに見学	4時間
お礼状作成 	○ 職場へのお礼状の作成をする。「手紙の書き方」を学習し、書式を分割して、分割した部分の作文を1人で行い、全員のものをあわせ、お礼状を完成させる。	2時間
発表のプレゼンテーションの原稿作成	○ 職場見学を通じて、友に紹介したいことをあげたり印象に残ったことを話し合ったりする。パワーポイントで発表する内容検討、下書き作成。	2時間
発表用のパワーポイント制作 	○ 前時に考えた下書きを基に、パワーポイントを作成する。 ○ 1人1シートを制作し、班のみんなのシートを合わせて完成させる。 ○ 完成後、発表原稿を作り、練習する。	2時間
プレゼンテーション発表と、各班での振り返り	○ 印象に残ったことや働く人たちが大切にしていることを考える。 ○ 職場体験学習当日の「自分の目標（こころがけたいこと）」を決め出す。	2時間
オリエンテーション	○ 職場体験学習の目的を確認するとともに今後の学習の流れを捉える。	2時間
名刺作成 	○ 名刺を観察して、必要な情報やレイアウトについて考える。 ○ 職場の方へ渡す名刺を作成する。	3時間
ジョブカフェ信州より「働くことについて」(講演)	○ 講師の先生から「働くとはどういうことなのか」というお話をお聞きし、職場体験学習の前に、体験に取り組む心構えや自分への課題をもつ。 ○ あいさつや名刺交換などの練習をし、社会人としてのマナーを理解する。	1時間
事前打ち合わせ	○ 電話や訪問時のマナーを理解し、体験先と打合せを行う。 ○ 当日は「職場で働く人たちの姿」について学んでくることを確認する。	4時間
<b>職場体験学習(2日間)</b> ○ 村内及び上田市内の各職場で個々に体験		12時間
お礼状の作成 	○ 職場体験を振り返りながら、体験先の事業所にお礼状を書く。	1時間
職場体験学習の振り返りとまとめ	○ 体験したことポスターにまとめ、職場の方が大切にしていたことと理由を考える。 ○ 将来働くまでにつけたい力を考え、中学校生活の中での自己課題を見つける。	4時間

#### (2) 国語科との連携

国語の授業では、教科書に掲載されている題材を中心に学習を進める一方で、生徒の日常生活における題材をもとにした学習も大切にしています。今回は、職場見学や職場体験学習の「お礼状作成」場面において、手紙の書き方や相手意識をもって伝えたいことをどのように表現するかなどの学習を進めました。(単元展開「国語①②」)生徒は、総合的な学習の時間として進めてきた職場見学や職場体験学習での視点「働く人の姿から大切にしていることを学び、自分の学校生活や将来へつなげていくこと」をテーマとしながら、一人一人がお礼状作成をすることができました。

### (3) 技術・家庭科との連携

技術・家庭科では、生活や社会の課題を解決する視点からの学習を重視しています。ものづくりに終始するのではなく、生徒が自らの願いや疑問を解決するために、既習の知識・技能を活用しながら学習を進めることが大切です。使用場面が明確で、生徒の必要感のある製作にしなければなりません。

今回の職場体験学習へ向けたプレゼンテーションや名刺製作は、技術分野「情報」の授業の中で行いました。(単元展開技術①②) 生徒はパソコンの技能を学びながら、自分たちの学習や生活に生かすことができました。



#### 【作成した名刺の活用過程】

①名刺(見本) → ②マナー講座で渡し方を練習する様子 → ③体験時に実際に渡した様子

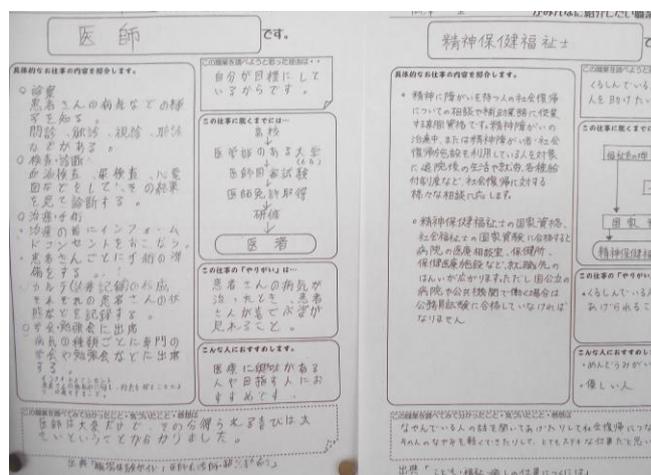
### (4) 図書館の活用

今回の改訂で、学校図書館は教育課程の展開に寄与する「学習情報センター」としての機能を更に果たすことが期待されています。本校図書館は、もとより蔵書数にも恵まれ、教科等の学習に連携した特設コーナーの設置など充実した取り組みを続けておりますが、より一層積極的な活用を図る取り組みが始まっています。各教科における授業内での更なる活用場面の模索です。

今回の職場体験学習の前に、2年生はキャリア教育の一環として図書館を活用した調べ学習に取り組みました。個々の生徒が興味のある職業について調べ、まとめたものです。その学習が土台となり、今回の職場体験学習へとつながっています。



【図書館での調べ学習の様子】



【生徒のまとめた「職業調べ」】

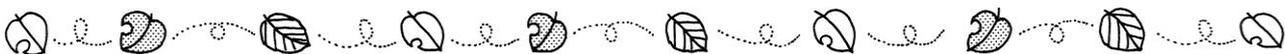
#### 4 おわりに

今年度、「総合的な学習の時間」を中心に授業改善を進めてきましたが、新学習指導要領全面実施へ向けて、まだその入口に立ったところです。今年度の取り組みを単年度のものとすることなく、その成果を全職員で共有し、今後、そして次年度へと引き継いでいきたいと考えます。更に全職員で研修を重ね改善を図りながら、新学習指導要領の趣旨を理解し、全面実施へと進めていきたいと思っております。



## 上田高校夏季フィールドワーク

上田高校の1学年は、今回3回目となる「グローバルスタディ夏季フィールドワーク」の研修を9月12日に児童センターで行いました。スクールカウンセラーの植田先生から青木村の教育についてのお話を、児童センター所長高田先生からは児童センターでの子ども達の様子をお聞きしました。その後子ども達とドッチボールをしたり、遊具で遊んだりしました。



### 編集後記

今年は、11月25日(土)8:40から文化会館で「子育てフォーラム2017」を開催します。満1歳から未就学児は保育園で託児があり、小中学生は信大生のイベントに参加することが出来ます。分科会前には、あおきっ子応援団のお父さん方による『おもてなし』があります。大勢の皆さまのご参加、お待ちしております。

今年度後期の「はつらつネットワーク参加団体活動計画表」を配布します。詳しくは各団体の代表者または教育委員会へお問い合わせください。

